

下記注意事項を十分理解し、守った上でご使用ください。

取付作業時の注意事項

本製品を正しく固定するための両面テープについての注意

●車内温度が10℃以下での貼付作業は行なわないでください。貼付推奨温度は23℃(±2℃)です。冬期に作業をする際は、ドライヤー等で貼付場所と両面テープを温めてから行ってください。また、外気温との差が大きいと本製品に結露が発生する場合があります。その場合は結露が解消してから作業を行ってください。●両面テープを貼り付ける前に必ず脱脂作業を行ってください。●貼り付けの際、本製品に無理な力を加えたり、歪めたりしないでください。●両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは本製品に強い力を加えたり、使用したりしないでください。●両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないように注意してください。●両面テープの貼り直しはしないでください。

使用前・使用時の注意事項

警告 ご使用前に必ずお読みください。

●走行中、運転者は安全のため絶対に本製品を使用しないでください。●ライターやエアゾール製品等の火気製品・電池類は置かないでください。

注意 ご使用前に必ずお読みください。

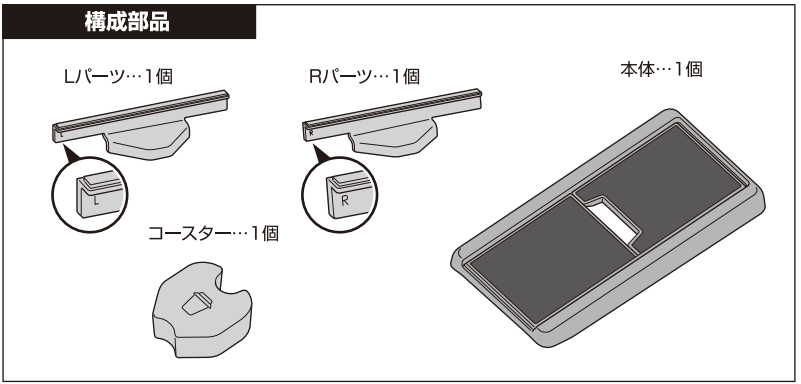
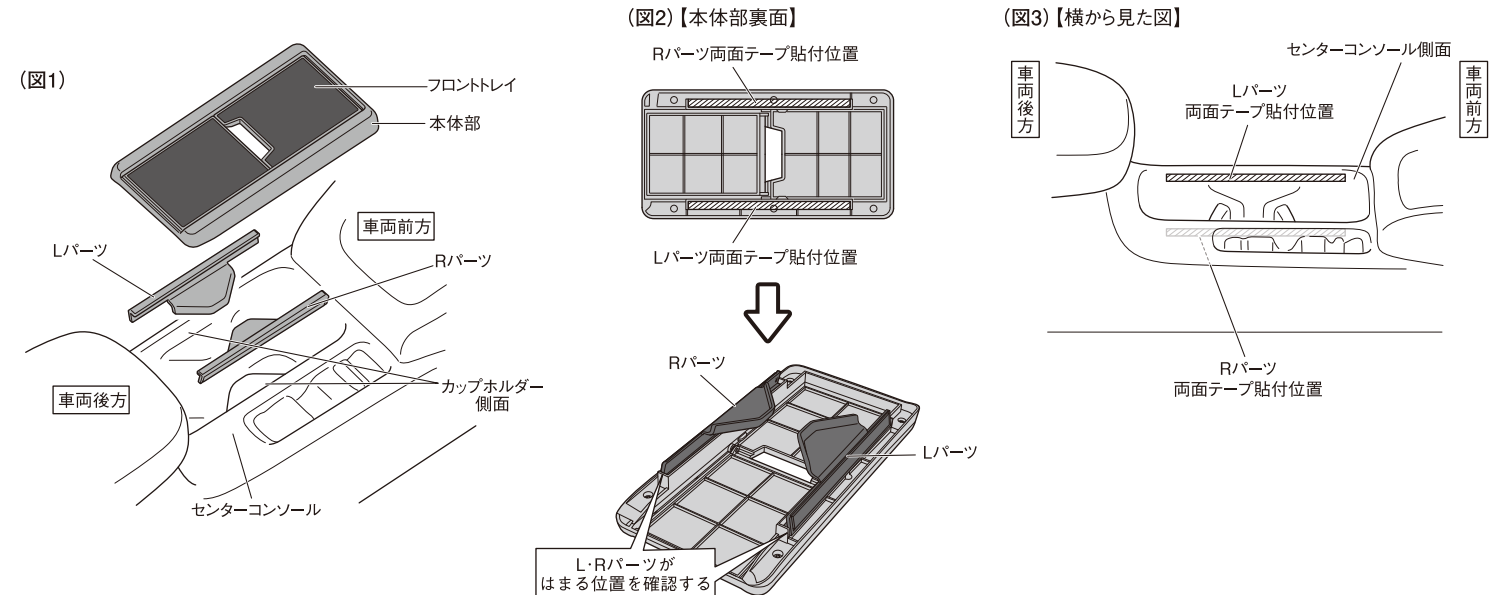
●用途以外の目的で使用しないでください。●走行状況や悪路・段差等の路上環境により、置いた物が落下するおそれがあります。状況に応じて、本製品の使用をおやめください。●本製品に無理な力を加えたり、強い衝撃を与えたりしないでください。●車から離れる際には置いた物を放置しないでください。●置いた物を長時間放置すると塗装・柄・色・印刷が移る場合があります。●本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。●本製品を取りはずす際は、内装を損なわないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のシリカはがし剤を別途ご用意いただき使用してください。

取付準備 ※本製品の取り付け・取りはずし・操作は、必ず安全な場所に駐車して行ってください。

※ここでは本体、Lパーツ、Rパーツの取付場所の確認だけをしますので、両面テープ剥離紙ははがさないでください。

1 センターコンソールのカップホルダー側面の形状とL・Rパーツの形状を合わせてあげ、取付位置や向きを確認します。次に本体部をフロントトレイ側が車両前方になる向きであてがいます(図1)。その際、本体部裏面のL・Rパーツ両面テープ貼付位置の形状にL・Rパーツがはまる状態が本体部の正しい取付位置です。(図2)

2 脱脂剤・クリーナー等を別途ご用意いただき、L・Rパーツの両面テープ貼付位置(本体部裏面/センターコンソール側面)の汚れ・ゴミ・油分・保護剤等をきれいに拭き取ります。(脱脂作業)(図3)



※ここで表記するトレイ部とは、フロントトレイとリアトレイの両方を指します。

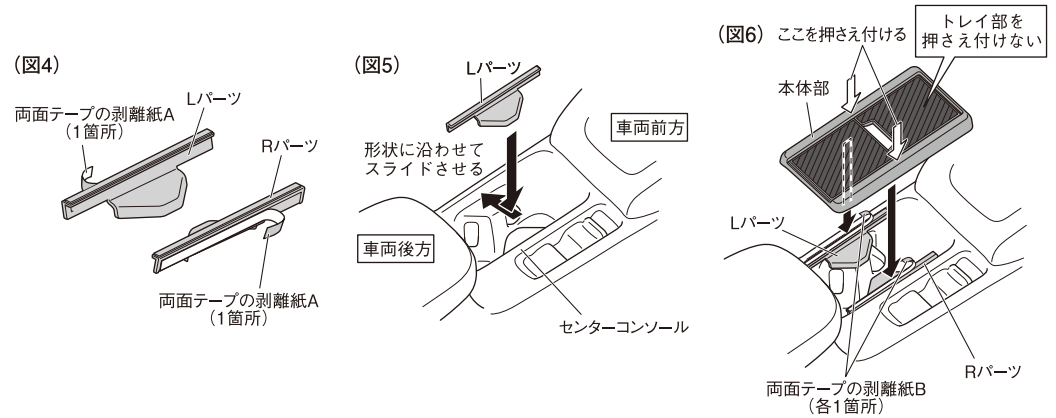
取付方法

1 L・Rパーツの両面テープの剥離紙A(センターコンソール側面に貼り付ける方 各1箇所)をはがします。(図4)

2 Lパーツをカップホルダー側面の形状に沿わせてスライドさせ、**取付準備 1** で確認した取付位置に両面テープが密着するように押さえ付けて一度でしっかりと貼り付けます。(図1・図5)
Rパーツも同様に貼り付けます。

3 L・Rパーツの両面テープの剥離紙B(本体部裏面に貼り付ける方 各1箇所)をはがし、本体部を密着するように押さえ付けて一度でしっかりと貼り付けます。(図6)

注意 ・トレイ部を押さえ付けしないでください。
・本製品を正しく固定するための両面テープに関する注意を参照してください。



使用方法

1 トレイ部の使用可能範囲内(箱ラベル参照)に小物等を置きます。(図7)

注意 ・使用可能範囲を超える物を置いたり、使用可能範囲からはみ出すような置き方をしたりしないでください。(図7・図8)

2 車両のカップホルダーを使用する場合は指掛け部に指を掛けて上に引き上げます。指掛け部から指をはずし、フロントトレイを押してロックがかかるまでたたみます。(図9・図10)

注意 ・トレイ部をたたむ際はトレイ部に何も置いていない状態でたたんでください。
・トレイ部をたたんだり、戻したりする際は、指を挟まないように注意してください。
・トレイ部を戻す際は、フロントトレイ下部を軽く押し上げ、ロックを解除して戻してください。(図12)
・車両のカップホルダー使用時以外はトレイ部を戻してください。(図12)
・走行中振動等により、トレイ部のロックが解除されて戻ったり、音がしたりする場合があります。

3 車両の前方カップホルダーに収納した飲料容器が本製品に干渉する場合は、付属のコースターを入れて収納します。車両のスペーサーを押さえながら図11の向きで入れてください。

注意 ・コースターは後部カップホルダーには入りません。
・後部カップホルダーに収納する飲料容器の形状によっては本製品に干渉する場合があります。そのような形状の飲料容器は収納しないでください。(図13)
・コースターを使用しない場合は、紛失しないよう大切に保管してください。

※コースターを取りはずす際は、車両スペーサーを押さえながら取りはずしてください。

